

風景の中に深く根を下ろす集合住宅

広島市日本住宅公団鈴ヶ峰団地

技術③

1 - たたずまいの創造

「広島という都市が、何もないところから再生するのを見てきた。海や川や山とかかわる多自然都市の条件が広島の風景を支えており、再生した街そのものは、意味もなく雑然としている。それに失望して、再生の経過の中でつくられた新しい「街のたたずまい」を探しまわる。そのような中で、この鈴ヶ峰団地は、人が住み、生きるための「街のたたずまい」を感じさせる数少ない場所である。瀬戸内に広がる風光を最大限に取り込んで、接地性と戸建て感に配慮した、典型的な低層集合住宅は、二十年の月日を経て風景の中に深く根を下ろしている。商業的マンション群の林立するなかで・・・。」

『建築ジャーナル』二〇〇三年一月号は、「地域主義のかたち」一本当に良い建築とはなにかーという特集である。中部日本で、錦織亮雄氏が、広島市の世界平和記念聖堂に加えて、もうひとつのおすすめとして選んでいるのが日本住宅公団（現都市基盤整備公団）鈴ヶ峰団地である。広島市が、市の郊外部、西区鈴ヶ峰町に計画した五十四ヘクタールの住宅用地のうちの約三ヘクタール、総戸数二百九十四戸の分譲集合住宅で、広島湾を一望に見下ろす高台、約十分の一の勾配の南斜面にある。



図1 最上階（四階）は瀬戸内海への眺望と緑が楽しめるセットバックテラス

2 - 広狭のちどり配置

一般に、住棟を南面平行配置とした場合、外部空間は変化に乏しく画一的になりやすいが、この鈴ヶ峰団地では、眺望のよい南斜面の特性を生かすため、二階建住棟と四階建住棟の組み合わせによるちどり平行配置（図2）という変わった構成になっている。この結果、建物と建物との間に大小の変化が生まれ、住棟の接近した部分では密

度間のある路地的空間が、住棟の離れた部分では広がりのある空間ができ、変化に富んだ疎密なオープンスペースが創出された。傾斜に沿った南北の道は、左右の広狭空間をつなぐネットワークを形成するが、山村集落や漁村集落によく見られるような極力細い道として、コミュニティ空間としての場所のアイデンティティを高めることを目指した。車に関しては、クルドサックという行き止まりのような形式を採用し、一般者の団地内通過を排除すべく計画した。住民の車と、ゴミ収集車、緊急車といった日常生活に欠かせない車の通行には、要所要所をクランクさせた歩行者優先道路を使用する。技術④などで触れている独立住宅の居住環境ブロック、居住区域道路の考え方である。

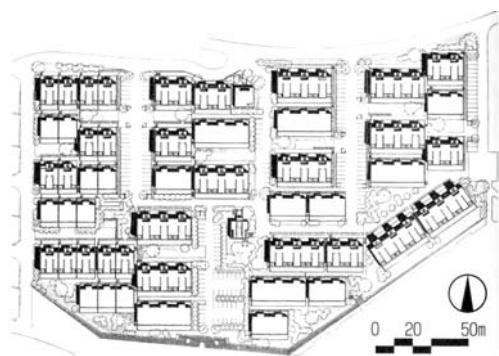


図2 公団鈴ヶ峰団地のちどり型住棟配置



図3 手入れされた緑の住棟間通路

3 - 接地タイプと眺望タイプによる住棟構成

従来の標準的な中層住宅（五階建）では、広島湾を一望に見渡せる当敷地の特性が生かせない。そこで、眺望を最大限生かした住戸と、接地性の高い住宅とで構成される住棟および配置形式の開発を行った。つまり、専用庭を有する接地性の高い、二階のメゾネット住宅と、四階にセットバックテラスを持つ三、四階のメゾネット住宅を考え、傾斜に沿って南に一、二階建ての住棟を、北にこれらを上下に重ねた四階建ての住棟を配すると、二階建ての北側は日照上広くせらずに済み、四階建て

の北側は逆に広いスペースが必要になり、これらを左右でちどりにするように配すると、先に述べたような配置が実現できる。傾斜の落差のゆえに、それぞれの四階のテラスからは広島湾を見下ろす素晴らしい眺望が得られることになり、一方、その他の全ての住戸が、専用庭を持つことができる。その結果、四十パーセント近くの住戸が眺望を、残りの六十パーセント強の住戸が専用庭を持つという特色ある住戸構成が実現できた。眺望タイプでは玄関前のテラスポーチが、接地庭タイプでは北庭が、それぞれささやかながらも確保されており、新しいタイプのタウンハウスが実現できたのである。

4-街のたたずまいの要因

「たたずまいの創造」と賞賛された要因のひとつは、豊かに配された緑であり、その緑にマッチする特殊なコンクリート外壁であろう。杉板を用いて、当初から風化したかのように微妙に欠け落ちるリブが浮き出るような型枠をつくり、打ち放し仕上げとした。その上に、コンクリートの打ち放し感を透明に感じさせる濃橙色のカラークリアー塗装を施している（図4, 6, 7等）。さらに、豊かな緑とあいまって、特色ある住宅での生活そのもの、接地感と浮遊感の共存するひそやかに濃密な生活感、二階建てと四階建てというヒューマンな集合住宅空間のスケール、そういったものの総体とその大きな要因に違いない。



図4 杉板特殊型枠が特徴的な階段室



図5 南北方向の極細路地階段



図6 2階建て住棟と4階建て住棟のちどり配置の風景



図7 傾斜に沿ってリズムカルな4階建て住棟の階段室配置

日本住宅公団鈴ヶ峰団地 1980年

広島県広島市西区

敷地面積：30,956 m² 戸数：294戸

掲載紙：住宅都市8008